

養成技術者の研究・研修成果等

1. 養成技術者氏名： 高見 幸司

2. 養成カリキュラム名： 中小企業における省エネルギー化を意識した大学技術移転手法の構築

3. 養成カリキュラムの達成状況

- ・企業ニーズの把握については、ほぼ予定通り。大分県内の企業を30社程度訪問した。
- ・大学の研究成果把握については、ほぼ予定通り。大分大学の教授に話を聞き、研究内容を聞くとともに、既存の資料を用いて研究成果の把握に努めた。同時に、データベース化も行った。
- ・上述を基礎にして、間接的に省エネルギー化につながる研究として、地域共同研究センターのウェブサイトのリニューアルを行った。
- ・(有)大分TLOに対し、ウェブサイトリニューアルで培った省力化をいくつか実践することができた。

4. 成果 (A4版3枚程度)

目的

中小企業における現場における作業効率の向上、省力化などを大学の技術移転により実現することを目的とするので、広義な意味での省エネルギー技術の実用化に資することができる。

概要

実際に省エネルギー化に貢献するのはもちろんであるが、作業効率の向上や省力化によって、間接的な省エネルギー化へ貢献することを視野に入れて研究を行った。具体的には、インターネットを用いた効率的な情報公開のあり方や、企業における問題をどう大学の技術で解決するかという問題である。

成果

・ソフトウェア開発会社出身であることもあり、センターの事務などで日々の業務をできるだけパソコンで簡単に行うようにアドバイスすることによって、省力化を図った。パソコンによる作業は、ある程度習熟しなければ便利になるどころか、逆に負担になってしまうことも多い。そのような事態を避けるために、できるだけわかりやすくアドバイスするように心がけた。

・地域共同研究センターのウェブサイトをわかりやすくリニューアルし、情報を的確に伝えられるような体制を整えた。また、データを豊富にした。この2点を実行することで、ユーザが知りたい情報をすぐに取り出せるようになり、省力化、省資源化を図ることが可能となった。このことは間接的な省エネルギー化に繋がるものであると考えられる。

リニューアルした効果については、以下の表から明らかである。

	リニューアル前	リニューアル後
対象日数	760日	287日
有効アクセス数	58,073	57,644
平均1日アクセス数	76	200

この表からわかるように、1日平均アクセス数が約2.5倍強になっている。この原因は以下のようなものが

考えられる。

1. 情報が整理されたことにより、目標の明確化

関連する項目をグループとしてまとめることにより、すっきりしたトップページの作成に成功した。そのため、ユーザがたどるべき道のりがはっきりし、ユーザの余計な労力を減らすと共に、より多くの情報を引き出すことが可能になる。その結果、アクセス数が増加したと考えられる。

2. 検索サイトからのアクセスの増加

情報が整理されたことにより、検索に引かかる可能性が高くなったと考えられる。事実、検索サイトからのアクセス数はリニューアル前は総アクセス数の約18%だったのに対し、リニューアル後は22%強と確実に増加している。

成果の活用

今回の研究によって、ある一定の指針にしたがってウェブサイトを更新することによって、より効率的な情報発信を行うことができることを証明できた。当センターの例では、パンフレットを上回る情報をウェブサイトに載せることで、パンフレットの代用として使用ができ、今後は、ウェブ上での情報発信により、最新情報を即座に手にいれることができ、紙媒体を配布する回数も減らすことが可能となる。同じ事を中小企業でも行うことで、結果的に省エネルギーへの貢献を行うことが可能となる。

・当センター建物内に設立された(有)大分TLOのウェブサイトの作成も担当した。大分TLOでは、情報発信としてメールマガジンを使用することになり、そのシステムの立ち上げに携わった。電子媒体であるメールマガジンを使用することにより、郵送などの手間を省き、TLOの省エネルギー化に貢献できたと思う。

5. 成果の対外的発表等

(1) 論文発表(論文掲載済、または査読済を対象。)

なし

(2) 口頭発表(発表済を対象。)

地共センターWebサイト改善提案

(2003年9月15日・16日開催 産学連携学会 産学マッチングセッション)

(3) 特許等(出願番号を記載)

なし